

第13期

第10回 鳥取市校区審議会

平成29年10月31日(火) 9:30

鳥取市役所 本庁舎 4階 第2会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議事録署名委員の選任 委員、 委員

4 報 告

(1) 第9回校区審議会審議概要について..... P1

(2) 校区審議に関連する活動報告について..... P2

(3) 鹿野地域小中一貫校の設置について..... P3~4

5 議 事

(1) 第13期鳥取市校区審議会「中間まとめ」について..... 参考資料 別冊

(2) 江山校区の学校のあり方について..... 参考資料 P1~22

6 その他

7 閉 会

鳥取市校区審議会委員（第13期）

任期：平成28年6月28日～平成30年6月27日

| 区分 | 氏名 | 所属、職業、住所等 | 10/31 出欠 |
|---------------|-----------------------|--------------------------------------|-------------|
| 学識経験者 (9名) | ほんな としまさ 本名 俊正 | 前鳥取大学学長顧問 | 出 |
| | のぐち よしふみ 野口 淑文 | 不動産鑑定士、司法書士 | 出 |
| | わたなべ かんじろう 渡辺 勘治郎 | 鳥取市自治連合会（自治連合会会長） | 出 |
| | はせがわ せいいち 長谷川 誠一 | 鳥取市小学校校長会（城北小学校校長） | 出 |
| | まつのたに ひろし 松ノ谷 博 | 鳥取市中学校校長会（西中学校校長） | 出 |
| | おおむら まさよし 大村 匡由 | 鳥取市小学校PTA連合会（遷喬小PTA会長） | 出 |
| | よしざわ はるき 吉澤 春樹 | 鳥取市中学校PTA連合会（北中PTA役員） | 出 |
| | かわぐち ゆみこ 川口 有美子 | 公立鳥取環境大学環境学部准教授 | 出 |
| | やまだ やすこ 山田 康子 | ゆうゆうとっとり子育てネットワーク | 出 |
| 公募 (3名) | うしお りゅういちろう 牛尾 柳一郎 | 無職（北園1丁目） | 出 |
| | たなか ひろゆき 田中 弘之 | 農業（気高町富吉） | 出 |
| | もりもと さゆり 森本 早由里 | 放課後児童支援員（河原町布袋） | 出 |
| 事務局 | きむら よしひこ 木村 義彦 | 教育委員会事務局次長(兼)教育総務課長(兼)校区審議室長 | |
| | いしがみ なおひこ 石上 直彦 | 教育委員会事務局教育総務課校区審議室主査 (兼)学校教育課指導主事 | |
| | おおつぼ むねあみ 大坪 宗臣 | 教育委員会事務局教育総務課校区審議室主任 | |
| | いとうえ ひろし 井上 宏 | 教育委員会事務局教育総務課校区審議室主事 | |

第13期 第9回 鳥取市校区審議会の審議概要について

- 1 日 時 平成29年9月21日(木) 14時00分 ~ 17時15分
- 2 会 場 鳥取市役所第二庁舎 5階 第1会議室
- 3 出席者 【委員(12名)】 本名会長、野口副会長、渡辺委員、長谷川委員、
松ノ谷委員、大村委員、吉澤委員、川口委員、山田委員、
牛尾委員、田中委員、森本委員
【江山校区の学校のあり方を考える会】 近藤会長、栗本副会長、中村委員
【事務局】 木村次長兼校区審議室長、石上主査兼指導主事、大坪主任
- 4 主な報告事項
 - (1) 鹿野地域小中一貫校の設置について
 - (2) 「逢坂の教育を考える会」の要望書について
- 5 議 事
 - (1) 江山校区の学校のあり方について
 - ・神戸小の小規模化の解消は喫緊の課題であり、神戸小と美和小の統合について、いち早く対応をすべきである。
 - ・小中一貫校については、地域の熱い思いを具現化する方策を審議会として示していく必要がある。
 - ・将来的に良い学校をつくっていくために、小中一貫校としていかにして効果を上げるのか、あるいは外から児童生徒を呼び込むような魅力は何なのかを考え、もう少し中身を詰めていただくことが必要だと考えるが、これまで他地域での前例もあり、小中一貫校設置という要望は否定しにくい面もある。
 - ・仮に小中一貫校とした場合、地域でサポート体制をしっかりとっていただけなのかという懸念がある。
 - ・江山校区について、審議会で方向性を出すため、次回も議論を継続する。
 - (2) 第13期鳥取市校区審議会「中間まとめ」について
 - ・鳥取市における「望ましい1学級及び1校あたりの児童・生徒数」の設定については、根拠を示すのが難しく、また設定する目的や効果が不明瞭なことから、削除することとした。
 - ・「中間まとめ」の周知については、第12期と同様な方法を進める。また、課題のある地域等については、事務局が直接説明に行くなど、丁寧な説明が必要である。

校区審議に関連する活動報告

| No | 月 日 | 実施時間 | 場所 | 会議名 | 内容等 |
|----|---------------|---------------|----------|------------------------------|-------------------------|
| 1 | H29.10.3 (火) | 19:00 ~ 20:30 | 鹿野町総合支所 | 第9回鹿野地域小中一貫校推進委員会 | 各部会報告、校章の選考・決定 |
| 2 | H29.10.11 (水) | 9:30 ~ 10:30 | 日ノ丸総本社 | 日ノ丸バスダイヤ協議 | 浜村 - 鹿野間のバス時刻の変更について |
| 3 | H29.10.11 (水) | 14:00 ~ 15:00 | 日本交通株式会社 | 気高循環バスダイヤ協議 | 気高循環バス時刻の変更について |
| 4 | H29.10.12 (木) | 19:00 ~ 21:00 | 鹿野町総合支所 | 鹿野地域小中一貫校推進委員会「第13回鹿野の宝応援部会」 | 開校までの環境整備等について、かわら版について |
| 5 | H29.10.16 (月) | 17:30 ~ 18:30 | 鹿野小学校 | 鹿野小中学校管理職との協議 | 新設教科表驚科について |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

すごい! 学校づくりかわら版



～小中一貫校開校に向けて～



発行 / 鹿野地域小中一貫校推進委員会

〒689-0405 鳥取市鹿野町鹿野1517 TEL84-2011 FAX84-2598

メール sk-kyoiku@city.tottori.lg.jp

第

11

号

2017年8月

かわら版第10号から引き続きまして、平成29年4月16日開催の保護者説明会後における保護者の皆様からの要望・お尋ねに答えさせていただきます。

Q5. 表鷺科のねらいと内容について

義務教育学校ならではの取り組み、新設教科として取り組む「表鷺科」について、皆様から質問・指摘等いただきましたのでお答えします。

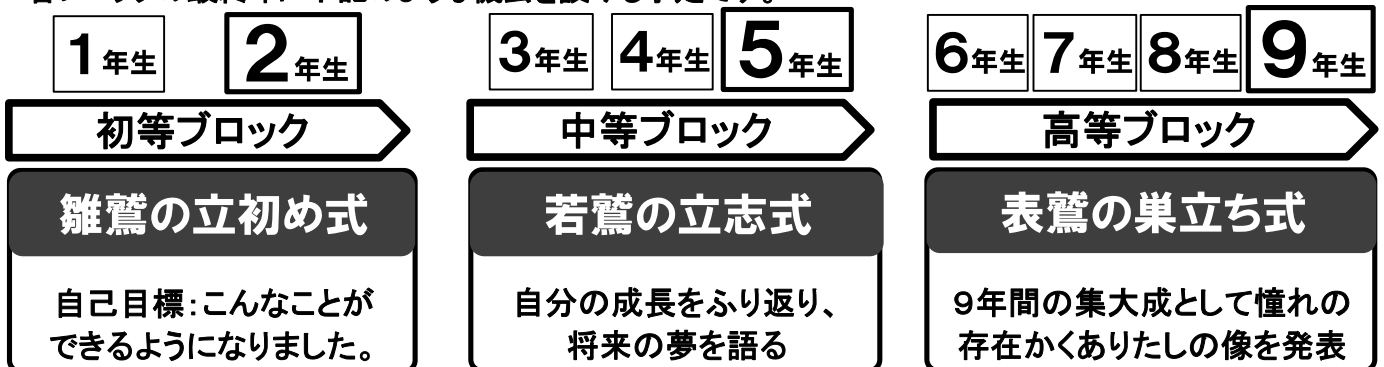
表鷺科は、表現・体験活動を通して表現力やコミュニケーション力を育てる教科です。これらの力は、すべての教科学習や生活の基盤となる力であり、各教科における学力の向上にも大きく寄与するものです。全ての学習の基盤をつくる教科と考えています。

また、自らを表現し他とつながり合うことで、子どもたちは友だちや地域社会との関係を深め、自己肯定感や自己有用感を高めていくことができます。

表鷺科の学習によって培われる自信や地域を誇る気持ちは、子どもたちの何ごとにも挑戦してみようとする意欲を高め、将来の夢や希望を確かなものにしていくことができます。さらにこの自信とコミュニケーション力の向上は、これまで課題であるとされてきた「高1ギャップ」の解消にも役立つものと期待しています。

なお、表鷺科の学習内容は、川柳・演劇活動・外国語活動等を予定し、言葉だけでなく色々な表現の仕方を身につけることで、多方面での活用が期待できます。

各ブロックの最終年に下記のような機会を設ける予定です。



現在、鳥取市は30年度より3年生から英語授業を取り入れる予定であります。鹿野学園では英語授業を「表鷺科」の中で、1・2年生から組み入れする予定としています。詳細な内容については、より具体的な検討を重ね、後日お知らせいたします。

Q6. 現5年生のリーダー性の育成について

現5年生がリーダー(最上級生)を経験しないままに高等ブロック(王舎城学舎)へ進むことへの不安についてありますが、児童全員にリーダーの経験をさせることは通常時においても難しいことです。しかし、現在小学校では各委員会、クラブ、登校班、各種行事や大会等の企画・運営等に、6年生と共に出来るだけ5年生にも参画させるように取り組んでいます。リーダーは集団のそれぞれの立ち位置で、色々と苦労しながら、時には辛酸をなめながら、育っていくものと考えています。

すごい! 学校づくりかわら版



～小中一貫校開校に向けて～



発行 / 鹿野地域小中一貫校推進委員会

〒689-0405 鳥取市鹿野町鹿野1517 TEL84-2011 FAX84-2598

メール sk-kyoiku@city.tottori.lg.jp

第

12

号

2017年9月

鹿野学園の校章デザイン募集状況

【鹿野学園】の校章デザイン募集を7月下旬から9月15日の間実施しました。町内外から小・中学生をはじめ多くの皆様から、沢山の応募をいただきありがとうございました。応募状況は、下表のとおりです。(応募件数:252点 応募人数:243人)

| 区分 | 町内 | | 町外 | | 県外 | | 計 | |
|-----|------|------|----|----|-----|----|------|------|
| 幼児 | 3点 | 3人 | — | — | — | — | 3点 | 3人 |
| 小学生 | 153点 | 153人 | — | — | — | — | 153点 | 153人 |
| 中学生 | 76点 | 74人 | — | — | — | — | 76点 | 74人 |
| 一般 | 2点 | 2人 | 5点 | 5人 | 13点 | 6人 | 20点 | 13人 |
| 計 | 234点 | 232人 | 5点 | 5人 | 13点 | 6人 | 252点 | 243人 |



応募いただきました作品を小中一貫校推進委員会で、「鹿野らしさ」を選考基準の中心としながら厳選の上10月には決定し、地域の皆様にお知らせします。また同時に、校旗や学校銘板などの作成に取りかかり、開校に向けての準備をより一層進めていきます。

表鷲科につなぐ「ワークショップ」実施中

「義務教育学校『鹿野学園』」開校と同時に新設教科「表鷲科(あらわしか)」もスタートします。その表鷲科へのアプローチは今年から始まっています。そのひとつが「『生きる力』を育む演劇ワークショッププロジェクト・トリジュク」(以下ワークショップ)です。このワークショップは、鳥の劇場(中島諒人氏主宰)と青山学院大学社会情報学部LCD研究ユニット(苅宿俊文教授)が中心となって実施される活動で、鹿野小は4年生、鹿野中は1年生を対象にしています。4時間(ワークショップ2時間・「省察(振り返り)」2時間)を1ユニットとして年間7回実施され、既に2回終了しています。小学校のワークショップでは、これまで「こわれた千の楽器」という教材を使って、自分を表現し、今まで知らなかった友だちのすばらしさを発見してきました。このワークショップ全体を通して、子どもたちの自己肯定感を高め、友だちへの信頼を深める効果、さらには学習意欲の全般の向上が期待できます。

